

住民説明会 122件の意見・要望 要旨

説明会は、合併の必要性、新しいまちづくり、合併後の財政状況そして協議会における協議事項について説明をしてきました。

また、事務局からの説明後質疑応答の時間を設け、参加者の皆さんからのべ122件のご意見ご要望をいただきました。内容を分類すると右図のとおりとなります。主なものをお知らせしますと…

内 容		件 数
合併全般		32
新市建設計画		22
新市の財政推計		35
協議事項	支 所	10
	議 員	5
	学 校	4
	そ の 他	14
計		122

合併全般

なぜ、合併するのか？

地域で手を取り合って、渋川地区全体の自立を考え合併をすすめています。

合併による効果が出やすいものは何か？

人件費、物件費は合併により大幅に経費が削減できます。

行財政基盤の確立とは？

国の地方交付税が減額されてきています。今後もこの状況が続くことが予想されます。そのため、合併により経費を削減することが必要です。

渋川市主導の合併にならないか？

合併は新設(対等)合併となります。任意合併協議会の委員数も6市町村同数になっており、各市町村の意見が十分取り入れるよう協議をすすめています。

合併のスケジュールは決まっているのか？

平成17年3月31日までに知事に合併の申請をし、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間に合併を行うと、合併特例法の適用が受けられます。

合併後のメリット、デメリットを教えてください

サービスは高く負担は低くが理想ですが、現実にはすべて理想どおりとはなりません。

合併によるアンバランスが生じないように調整していきます。



北橋村

伊香保町は自立の方針というが

伊香保町では地域座談会が開催されています。その席で町長が発言したそうです。

7月に住民投票を実施したいとのこと。

新市建設計画

新市建設計画は何年後を目途としているのか？

合併後10年後のまちづくりとして整理しています。今後、まちづくり実現のため具体的な事業を整理していきます。

橋を架ける計画はないのか？

各市町村の総合計画等をふまえ、新市のバランスも考えながら検討していくこととなります。また、事業の実施には財政的な裏付けも必要となりますので、健全な財政運営も含めて検討していくこととなります。

財政推計

推計が甘いようだが？

人件費については、実際に10年間で200人程度削減できるとして削減額を算定しています。また、補助費などは合併により補助団体の統合が見込まれます。こういう積み重ねにより算定していますので、甘い推計をしているわけではありません。

普通建設事業費を具体的に教えてほしい

道路整備、公園・学校、公営住宅等の建設に充てられる費用です。推計では、合併により10年間で約223億円建設事業費が確保できるとしています。



子持村

6市町村が合併した場合の借金の合計は？

地方債の借入金残高は、平成14年度普通会計ベースで約334億円です。

渋川市が188億円、伊香保町が18.2億円、小野上村が20.9億円、子持村が42.8億円、赤城村が28.7億円、北橋村が34.5億円です。

ただし、地方債は、橋や道路などを造った場合に、10年20年先の住民のみなさんも使用することを考えての借金となりますのでご理解願います。

地方交付税については、合併後15年を越えると緩和措置がなくなるが…

合併後10年間は合併しなかった場合と同じ交付税が交付されます。その後5年間で激変緩和措置が行われます。その後は、合併をしない場合と比較すると地方交付税の額が少なくなります。

しかし、人件費の削減などにより、効率的な行政運営が可能になりますので、将来にわたり財政基盤を確保することができます。

協議事項

支所について教えてもらいたい

合併後は、各町村役場を支所とすることとしました。従前と同じようなサービスを受けられるよう検討しています。

また、住民窓口業務については渋川市の例により、夜間窓口・年度末等の休日窓口を開設します。

合併後は議員数が減り、住民の意見が伝わらなくなるか

議員の定数等については、在任特例、定数特例、選挙区の設置等いくつかの方法があります。現在、小委員会では協議中です。

また、地域審議会や合併特例区の設置等も行うことができ、住民のみなさんの意見を市政に反映することができます。



小野上村